



リリースノート BlueXP edge caching

NetApp
November 27, 2023

目次

リリースノート	1
BlueXPエッジキャッシングの新機能	1
BlueXPのエッジキャッシングの問題が解決されました	2

リリースノート

BlueXPエッジキャッシングの新機能

BlueXPエッジキャッシングの新機能をご紹介します。

2023年8月1日（バージョン2.3）

このリリースでは、に記載されている問題が修正されています ["修正された問題"](#)。更新されたソフトウェアパッケージは、から入手できます ["このページです"](#)。

2023年4月5日（バージョン2.2）

このリリースでは、以下に示す新機能が提供されます。また、に記載されている問題も修正されています ["修正された問題"](#)。

Google Cloudに導入された**Cloud Volumes ONTAP** システムでグローバルファイルキャッシュがサポートされます

Google CloudにCloud Volumes ONTAP システムを導入すると、新しい「エッジキャッシュ」ライセンスが利用可能になります。Cloud Volumes ONTAP システムの購入済み容量3TiBにつき、Global File Cache Edgeシステムを1つ導入できます。

["Edge Cacheライセンスパッケージの詳細については、こちらをご覧ください。"](#)

セットアップウィザードと**GFC**設定**UI**が拡張され、ネットアップライセンスの登録が実行されるようになりました

Optimus PSMが拡張され、**Edge Sync**機能が構成されます

2022年10月24日（バージョン2.1）

このリリースでは、以下に示す新機能が提供されます。また、に記載されている問題も修正されています ["修正された問題"](#)。

グローバルファイルキャッシュは、任意の数のライセンスで使用できるようになりました

これまでに必要だった10個のライセンス、つまり30 TBのストレージは削除されました。Global File Cacheライセンスは、3 TBのストレージごとに1つずつ発行されます。

オフラインライセンス管理サーバを使用するためのサポートが追加されました

オフラインまたはダークサイトのライセンス管理サーバ（LMS）は、LMSがライセンスソースを使用したライセンス検証用のインターネット接続を備えていない場合に最も便利です。初期設定時には、インターネット接続とライセンスソースへの接続が必要です。設定が完了すると、LMSインスタンスが暗くなることがあります。ライセンスの継続的な検証のために、すべてのエッジ/コアはLMSと接続されている必要があります。

エッジインスタンスは、追加の同時ユーザーをサポートできます

1つのグローバルファイルキャッシュエッジインスタンスは、専用の物理エッジインスタンス1つにつき最大500ユーザー、専用の仮想配置で最大300ユーザーを処理できます。使用可能なユーザの最大数は、それぞれ400と200です。

Optimus PSMを強化し、クラウドライセンスを構成

Optimus UI (Edge Configuration) の**Edge Sync**機能が強化され、接続されているすべてのクライアントが表示されるようになりました

2022年7月25日（バージョン2.0）

このリリースでは、以下に示す新機能が提供されます。また、に記載されている問題も修正されています ["修正された問題"](#)。

Azure Marketplaceからのグローバルファイルキャッシュの容量ベースの新しいライセンスモデル

新しい「Edge Cache」ライセンスには、「CVO Professional」ライセンスと同じ機能がありますが、グローバルファイルキャッシュのサポートも含まれています。このオプションは、Azureに新しいCloud Volumes ONTAP システムを導入するときに表示されます。Cloud Volumes ONTAP システムでプロビジョニングされた容量3TiBにつき、グローバルファイルキャッシュエッジシステムを1台導入することができます。少なくとも30TiBをプロビジョニングする必要があります。GFC License Managerサービスが拡張され、容量ベースのライセンスが提供されるようになりました。

["Edge Cacheライセンスパッケージの詳細については、こちらをご覧ください。"](#)

グローバルファイルキャッシュが**Cloud Insights** に統合されました

NetApp Cloud Insights (CI) では、インフラとアプリケーションを包括的に可視化できます。グローバルファイルキャッシュがCIと統合され、すべてのエッジとコアを完全に可視化し、インスタンスで実行されているプロセスを監視できるようになりました。さまざまなグローバルファイルキャッシュメトリックがCIにプッシュされ、CIダッシュボードの全体的な概要が表示されます。の第11章を参照してください ["『NetApp Global File Cache User Guide』を参照してください"](#)

["Cloud Insights の詳細については、こちらをご覧ください。"](#)

ライセンス管理サーバは、非常に制限のある環境で動作するように拡張されています

ライセンスの設定時に、ライセンス管理サーバ (LMS) がインターネットにアクセスして、ネットアップ/Zuoraからライセンスの詳細を収集する必要があります。設定が正常に完了すると、LMSはオフラインモードでの作業を継続し、制限のある環境であってもライセンス機能を提供できます。

Optimusの**Edge Sync UI**が強化され、接続されているクライアントのリストがコーディネータ**Edge**に表示されるようになりました

BlueXPのエッジキャッシングの問題が解決されました

BlueXPエッジキャッシングで解決された問題を確認します。

2023年8月1日（バージョン2.3）

- Optimus Configuration UIでは、次の修正が行われています。
 - 例外文字列ではなく、エラーに関する意味のある情報を表示します。
 - デフォルト値ではなく、ライセンスの有効期限が正しく表示されます。
 - UIでSSLが有効になっている場合は、ユーザ名とパスワードのフィールドが正しく表示されます。
 - は、Optimus UI Edge configurationタブで到達不能なGFCコアが設定されている場合に応答しなくなります。
 - [エッジ]ドロップダウンリストから複数のキャッシュ/エッジ名を選択できます。
- ライセンスの概要情報は、期限切れのライセンスと期限切れでないライセンスを表示しているときに正しく表示されます。
- 設定が正常に更新された場合にのみ再起動するようにTappNサービスを修正しました。
- 初回ウィザードで、エッジ数を表示する更新ボタンが追加されました。
- ウィザードの初回の概要ページにSSL情報が表示されるようになりました。
- Tumにインフラストラクチャを追加して、ミニダンプタイムアウトを設定し、ミニダンプを正しく実行できるようにしました。
- Optimusと初回ウィザードには適切なライセンス数が表示され、ライセンス数が0になると例外が表示されます。
- 入力したEdgeサーバー名が空の場合、Optimus PSMに適切なエラーメッセージが表示されるようになりました。
- オプティマスPSMの複数のキャッシュ名に事前取り込みジョブが正しく適用されない問題を修正しました。
- License Managerの設定が拡張され、ソフトエラーではなくハードエラーが表示されるようになりました。
- すでに設定されている場合は、Zoura登録UIにエラーが表示されます。
- Optimus UIとOptimus PSMでは、それぞれ8個のCPUと32 GBのRAMのCPUとメモリの要件が表示されるようになりました。

2023年3月27日（バージョン2.2）

- 'last modification time' オプションで事前入力ジョブを実行する時間形式を変換する問題を修正しました。
- ファイル転送の解析とCloud Insights サービスへの転送に関連する問題を修正しました。
- パブリッシャとの接続が切断されると、すべてのサブスクライバ間のファイルのEdge Syncが自動的に再接続されます。
- Edgeが複数のコアに接続されている場合、Edgeでの事前取り込みジョブの実行を修正しました。
- Optimus UIでは、Edge Sync機能に参加しているパブリッシャのConnected Edgeリストが表示されるようになりました。

2022年10月24日（バージョン2.1）

- GFCサブスクリプション番号の追加検証は、ライセンス設定時に実行されます。

- GFCは、Zuoraベースのライセンスの特定期間ライセンスを拡張するためのサポートを追加しました。GFCサポートにお問い合わせください。
- 衝突後ミニダンプを書き込む前に、15秒の遅延を追加しました。また、ミニダンプを監視するタイマーを追加し、ダンプが60秒以内に完了しない場合は強制的にプロセスを終了しました。これらの小規模な拡張機能は、分析の向上に役立ちます。
- 個々のファイル転送情報のCloud Insights への伝播を削除しましたが、ファイル転送の概要情報のCloud Insights への伝播が追加されました。これにより、CIへの負荷が大幅に軽減されます。
- Cloud Insights への固定データとメタデータの取り込み。これにより、データ視覚化CIを使用できるようになります。
- [CIへのインスタンスの登録]ボタンをクリックしてもOptimus構成UIがハングしないように修正しました。
- 初期設定中にTserviceモニタを手動で残す問題 を修正。
- GFC CIエージェントクライアントサービスの小さなバグを修正しました。

2022年7月25日（バージョン2.0）

- Optimusは、事前入力ジョブ追加設定の日付/時刻パラメータに境界制限を追加することで拡張されています。
- Optimus PSMで、システムの事前要求の詳細に正しいCPUの詳細が表示されるようになりました。
- コーディネータの詳細の入力と[更新]ボタンのクリックの間のEdge Sync設定中に、UIで例外が修正されました。
- Optimus UIが強化されエッジのEdge Sync機能が有効/無効になりました
- Zuoraライセンスアグリゲータ用のLicense Server Managerの日付範囲問題 を修正しました。
- Lease Count情報を表示するためにOptimus PSMを修正
- アップグレード中の構成アップデータ上の固定ライセンス管理サーバのロジック。

2022年6月23日（バージョン1.3.1）

- アップグレード時に、正しいバージョンのMicrosoft再配布可能が正しくインストールされていないため、Tumが起動しません。GFCインストーラが修正され、正しいバージョンの再配布が可能になりました。
- GFC License Manager Service (LMS) では、設定情報が上書きされるのではなく、更新されるようになりました。
- 構成UIは、アップグレードプロセス中に正しいSystem.net.http dllにバインドされるようになりました。

2022年5月19日（バージョン1.3.0）

- Edge Sync機能の構成UIページが更新されました。
- PowerShellコマンドレットを使用して複数エッジの事前取り込みジョブを同時に追加する場合、問題 を修正しました。
- LMS Web UIで、ネットアップサブスクリプションが表示されるように問題 が修正されました。
- LMS設定PowerShellスクリプトでTLS 1.2が使用されるようになりました。
- TappN (事前入力サービス)で問題 を修正し、一時的な切断やTumの再起動にもかかわらず、ジョブの実行

を継続できるようにしました。

- 空きキャッシュ領域が下限しきい値を下回った場合、TappN事前入力サービスが更新され、ファイルのフェッチがスキップされます。
- トレースログの作成中に'LMS（License Manager Server Service）の問題 を修正しました
- Tumのログインインフラストラクチャが更新され、拡張性が向上し、パフォーマンスが向上しました。

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。